

21. 茨城県内におけるパラコート抵抗性ハルジオンの分布

農業環境技術研究所 環境生物部 植生管理科

要 約

除草剤パラコート抵抗性ハルジオンの分布調査を茨城県内 30 市町村 64 カ所にわたって行った結果、10 市町村 13 カ所で抵抗性ハルジオンが見い出された。その分布はパラコートの散布など土地利用の形態と密接に関連していた。

背景・目的

近年、除草剤に抵抗性を示す雑草が各地で見られるようになった。こうした雑草の一種として、除草剤パラコートに抵抗性を示すハルジオンに着目して、その分布の実態を把握し、除草剤抵抗性の発現と伝播を検討した。

内容及び特徴

- (1) 茨城県内の 30 市町村、64 カ所から採取したハルジオンについて検定し、10 市町村 13 カ所でパラコート抵抗性ハルジオンを見いだした。抵抗性ハルジオンの分布の地域的な偏りは明瞭でなかった。
- (2) 抵抗性ハルジオンはパラコートの散布が頻繁に行われている果樹園、桑園、茶園などの樹園地、宅地の庭、および神社境内では見いだされたが、樹園地の周縁部、畠地とその周縁部および屋敷林などでは見られず、その分布は土地利用の形態と密接に関連していた。
- (3) 抵抗性ハルジオンは除草剤パラコートの連続的な使用によって発現すること、および種子や栄養体による繁殖はあまり急速ではないことが示された。

活用面と留意点

- (1) 除草剤に抵抗性をもつ雑草は、こんごも増加することが予想されるが、除草剤抵抗性雑草の発現と伝播を解明する上で活用できる。
- (2) 調査は 1988 年 2 月から 4 月に実施したが、今後継続して同様の調査を行い、農業環境の変化を観測する上で基礎的資料となる。
- (3) 除草剤抵抗性雑草の発現について、生理・生化学的側面からさらに解明することが必要である。

キーワード

パラコート抵抗性雑草、ハルジオン、植生分布

(佐藤光政・宇佐美洋三・小泉 博)

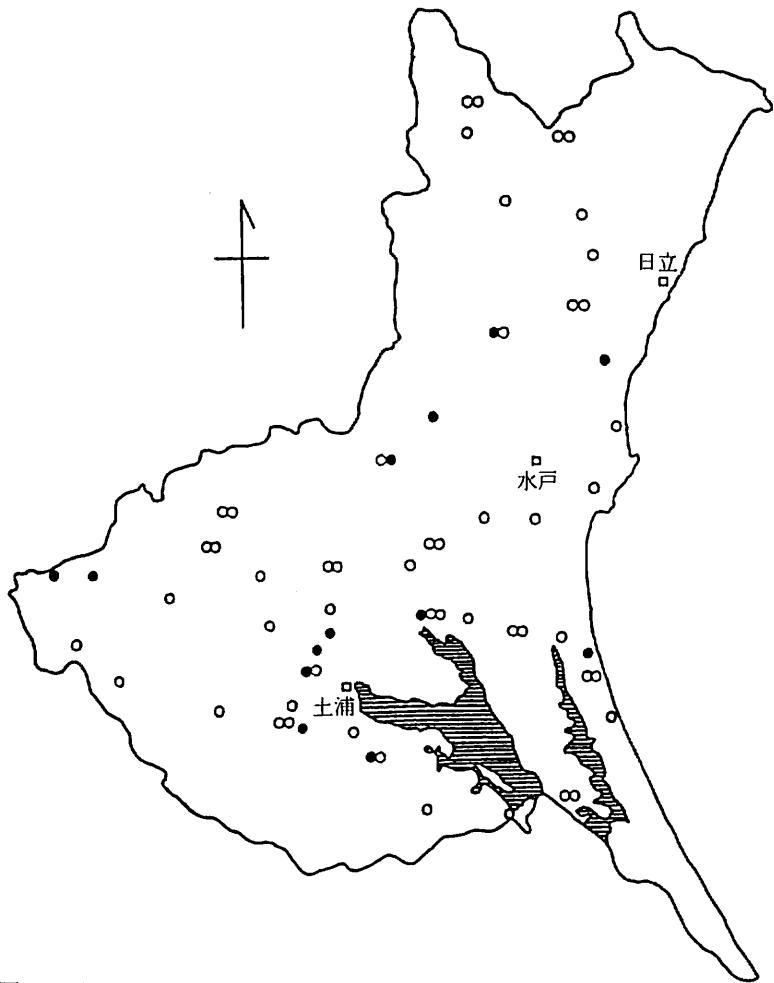


図 茨城県内におけるパラコート抵抗性ハルジオンの分布。黒丸は抵抗性ハルジオンの確認された地点を、白丸は調査したが、抵抗性ハルジオンの確認されなかった地点を示す。

表 土地利用の形態とパラコート抵抗性ハルジオンの分布

土地利用の形態	調査地点数	抵抗性ハルジオンの分布地点数
樹園地	27	10
樹園地周縁	9	0
畑地	2	0
畑地・水田周縁	10	0
路傍	7	0
竹林・屋敷林	3	0
公園・神社	4	1
宅地の庭	2	2
合計	64	13